

安心の
埼玉県へ

県政をさらに前に!

日本共産党県議団の2つの役割

県民・職員と力合わせて実現しました

●保健所体制の強化 職員38人増員

保健医療部職員55人の増員(2022年度)など
職員定数は大野県政4年間で7060人へ(284人増加)

●児童相談所の職員増員 児相・一時保護所の増設

児童福祉士・児童心理士の増員
252人(2019年度) → 408人(2022年度)

●障がい児の特別支援学校の過密化解消

戸田かけはし特支、岩槻はるかぜ特支など開校

県政を厳しくチェックしてきました

●県民への無料PCR検査を繰り返し要求

高齢者施設職員への検査や薬局での無料検査が実現しました

●県水道料金の値上げに強く反対

日本共産党4つの提案

①医療・子育て支援を充実

- ・小中学校の給食費を無料にします
- ・保健所・児童相談所を新增設します
- ・子ども医療費18歳まで無料にします

②県民の命とくらしを守る

- ・県水道料金20%引き上げをストップさせます
- ・高すぎる国民健康保険税を引き下げます
子どもの保険分(均等割)はただちに廃止を

③ジェンダー平等・多様性尊重の社会へ

- ・同性パートナーシップ制度を導入します

④気候危機打開に全力つくす

- ・ゼロカーボンシティ宣言をただちに

未宣言の都道府県は
埼玉と茨城の2県のみ

全国5位の財政力を生かせば
県民の願いはもっと実現できます

開かれた民主的な県政へ

請願紹介 最多

約4年間で県民から提出された請願29件中、27件の紹介議員になりました。

- 紹介議員率93%
- 請願署名合計数 33万4,385筆

県議会に提出された請願に対する主な政党・会派の態度

請 願	共産党	自民党	県民会議	公明党	民主 ^{フォーラム}
原発推進は撤回を(2022年9月議会)	○	×	○	×	×
一定期間消費税をゼロに(2022年6月議会)	○	×	○	×	×
少人数学級の実現(2022年12月議会)	○	×	×	×	×
私学の学費負担軽減を(2022年12月議会)	○	×	×	×	×

8議席の
県議団で 県民の声を
もっと県政へ

- 本会議で議案提案や代表質問
- 8つの常任委員会すべてに所属

軍事力強化ではなく 平和の外交努力を

いま岸田政権が進めようとしている軍事費2倍化で本当に国民を守れるのでしょうか?

日本が世界第3位の軍事大国となれば、脅威を感じた国はさらなる軍拡に走り、軍事衝突の危険は必ず高まります。さらにアメリカの指揮のもと敵基地を先制攻撃することになれば、日本は報復攻撃的になるだけです。

日本共産党の 外交ビジョン

アメリカと中国の対立をあおり、関係を遮断するのではなく、米中を含む包摂的な枠組みをつくる必要があります。ASEAN(東南アジア諸国連合)と協力し、東アジアに平和の友好関係を広げていく。これが日本共産党の「外交ビジョン」です。

軍事力の強化では平和はつくれません。

